

平成 11 年 3 月 23 日

## —暖かい国から熱いリサイクル取材—

### 『タイ王国のテレビチーム、豊島区のリサイクルを取材』

本日 23 日（火）、タイ唯一の民間地上波放送局「iTV」の取材スタッフが豊島区を訪れ、びん、缶、トレイ、ペットボトルの地域での資源回収の様子や、回収したビン、缶等の処理・加工を行っている民間資源化施設などを取材した。

iTVは、外務省の招待により、現在の日本の教育制度、女性の地位やリサイクルの取り組み等について、日本特集をするため来日したもので、スタッフは、リポーターのスモン・ティッパヤマートゴーメンさんとカメラマンのアッカラデート・タミヤジョンさんの2名。この日は、寒風が吹きつける中、豊島区の資源回収状況等を一日かけ精力的に取材した。

朝 7 時、資源回収日にあたる上池袋三丁目地区の回収場所には、角田安永上池袋三丁目町会長をはじめ、地域の資源リサイクルの核となっている推進員 12 名が集合。びん、缶、トレイ、ペットボトルの 4 品目の仕分け作業などを行った。iTVスタッフは、ごみに混入したびん、缶等を回収容器に仕分けしたり、地域の人々に分別の呼びかけを行っている様子を熱心にレポートした。その後、区民集会室においては、リサイクル推進員が集合し、地域における分別の徹底方法やリサイクル製品の拡大や利用についての話し合いが行われ、これについても取材が行われた。また、午後からは、今朝回収したびん、缶等の処理加工をしている民間資源化施設（足立区）を訪れ、びんの色選別やペットボトルの加工・処理状況についてレポート・撮影した。

タイ王国では、ごみ問題が顕在化しているが、リサイクルの取り組みが遅れている。取材にあたったスモン・ティッパヤマートゴーメンさんは「区民のみなさんがリーダーとなって活動しているのは、素晴らしいことだと思います。タイの人々は、ごみ問題やリサイクルについてあまり自覚がないので、こうした市民活動を、広くタイに知らせていきたい。そして将来、今度はタイが、外国からの取材を受けるようになれば良いと思います。」と話していた。

iTVは、タイ唯一の民間地上波放送局であり、5系統あるテレビ局の中でも、タイ警察の汚職などの報道を行っており、都市部のインテリ層・若者層を中心に大きな影響を与えている。今回取材した内容は、帰国後、早い時期に、日本特集として放映予定をしている。

詳細：リサイクル計画課長